

新型しゃ断機

踏切安全

制御部を統合・小型化(従来比40%減※)することにより、筐体や内部構造を刷新。
センシング、装柱、ウェイトなど多様なニーズに対応。

特徴

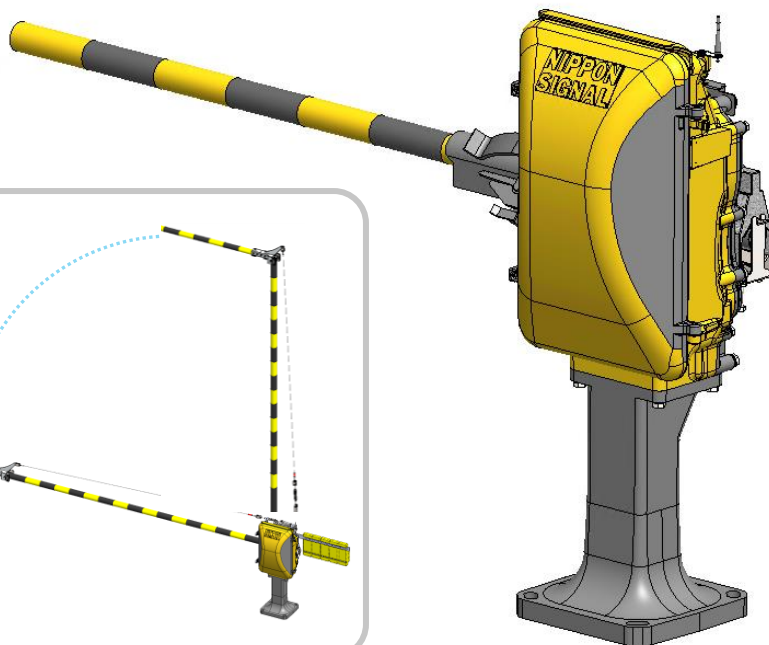
動作状況を計測および出力する
センサユニットを内蔵可能

スタンド構造の採用により、
水害対策を強化、装柱式に対応可能

ウェイトの追加取付により、
屈折式に対応、停電時のバランス調整が可能

ウェイトレス運用時の
運転電流低減による省エネ化(従来比16%減※)
*ウェイト追加取付による低電流化(従来比33%減※)

※MWF-Ⅱ形と同条件で比較した場合



屈折形

新型しゃ断機 ▶ センサユニット一体型しゃ断機

O&M

開発中

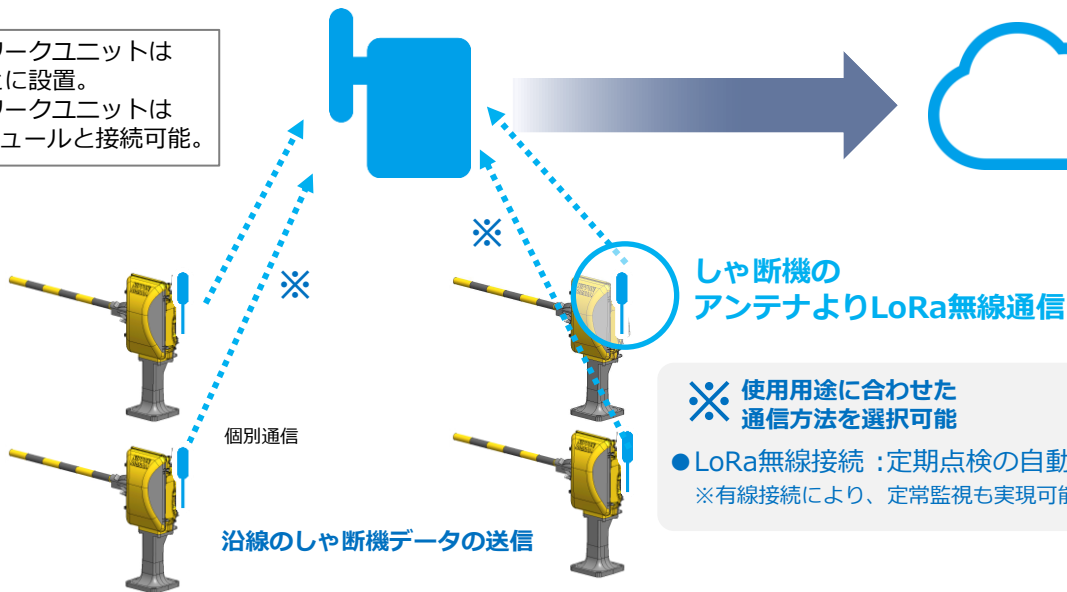
将来の人手不足に備え、定期検査の自動化、省力化を実現。

Traio地上ユニット

Traioクラウド

指令等

- ネットワークユニットは踏切ごとに設置。
- ネットワークユニットはLTEモジュールと接続可能。



測定項目

- 運転電流
- 下降保持電流
- 動作電圧
- 電源電圧
- 残留電圧（制御回路）
- 上昇時間
- 下降時間
- 動作回数